

平成 30 年度特別養護老人ホーム紫桐苑事業報告書 (紫桐苑短期入所生活介護事業所含)

特別養護老人ホーム紫桐苑においては、入所者一人ひとりの人権と生活を尊重し、「自分らしい生活」を実現するための支援が施設サービスの基本と位置付けて取り組みました。

また、事業の実施にあたっては、地域における介護施設としての存在と役割を認識し、基本的な支援の水準を常に維持すること、地域及び地域住民との親しみある関係を築くこと、福祉人材の育成に寄与することが総合的に果たせることを目指して取り組みを進めてきました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

(2) 事業規模

特別養護老人ホーム : 定員 50 名

短期入所生活介護 : 定員 10 名

2 事業の実施状況

(1) 生活支援

① 食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めることから、利用者への嗜好調査を実施して得られた意向を反映しつつ、個々の食形態や健康状態に応じた栄養管理を行って健康に過ごせるよう努めました。また、安全な食事を提供するために調理環境の衛生保持に努め、調理職員の細菌検査、厨房内消毒を月 1 回実施しました。

② 入浴

入浴回数は、原則として一人につき週 2 回行い、更に本人の希望により入浴できるよう月曜日から土曜日まで入浴を実施しました。また、体調の都合で入浴できない場合においては清拭を行うことで衛生保持に努めました。

③ 排泄介助

おむつ交換は、定時交換 4 回及び随時の個別確認、ケアコール対応により実施しました。

④ 自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切にし、本人の意思や意向を確認しつつ、自由で自分らしい生活が送られるよう、声掛けをしてサポートすることに努めました。

⑤ 施設内行事・余暇活動

施設における人と人のふれあいの場として、毎月の誕生会、節句や季節に応じた諸行事を実施しました。また、意向調査を行い、利用者の意向を踏まえつつ身体機能の維持増進に役立つ趣味活動を考え、週 2 回のペースで活動を実施しました。

⑥ 身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとでケアに取り組むことができました。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおい

ては、定期的な検証と経過観察をして対応することに努めました。

⑦ 事故防止・リスク軽減

施設で起こりうる事故を未然に防ぐための定期的な会議をもち、また、発生した事象については、再発防止のための早急な対策会議をもって利用者の事故・リスク軽減に取り組みました。

(2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるように定期的（半年ごと）なケア会議をもち、入所者家族と多職種間の連携をもって取り組みました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケア会議	9	11	11	14	4	8	11	7	11	14	3	6	109

(3) 健康管理

入所者一人ひとりが心身共に健康で充実した日常生活が送られるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師による回診（週1回）、健康検診（年1回）を実施して健康管理を行いました。また、インフルエンザやノロウイルスの流行期は、入所者・職員に予防接種を実施し、うがい・手洗い、マスク着用等の予防策を徹底して感染症対策に取り組みました。

実施日	健康検診概要
6月11～20日 (8日)	入所者歯科検診実施（48名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
7月4、11、18、25日	入所者健康診断実施（50名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
11月7、14、21、28日	入所者インフルエンザ予防接種実施（49名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※職員インフルエンザ予防接種実施 11月7日～28日

(4) 口腔ケアの推進

入所者個々の口腔内状態の維持及び向上、誤嚥性肺炎予防・感染症予防並びに口臭を防止することを目的とし、新里診療所歯科医との連携をもって食前・食後の口腔ケアに努めました。連携して取り組んだ内容としては、入所者全員の歯科検診（年1回）、歯科衛生士の個別指導による口腔ケア（週1回、計39回）を実施しました。

(5) 生活環境への配慮・衛生管理

介護用ベッド、居室用チェスト・間仕切り、食事用テーブルを更新し、より安全に生活できる環境の整備を図りました。また、施設内の装飾や掲示物の工夫をして楽しみある景観作りに努めました。なお、施設内の除菌や脱臭、湿度を保つために加湿機能付空気清浄器を設置しつつ、オゾン除菌脱臭機では夜間におけるくん蒸消毒を定期的に行いました。

(6) 会議

施設の運営及び管理、支援に対する方針の統一を図るため、各種の会議体を設置し、定期的な検証と検討をもって事業の推進を図りました。また、法人各事業所の職員で委員会を構成し、労働災害対策、危機管理、感染症対策、広報活動、内部研修、サービス評価については法人単位で取り組みました。

(7) 専門組織及びチーム活動

入所者の生活支援の向上と充実を図るため、各職種の代表によって事故防止検討委員会、感染症管理委員会、身体拘束廃止委員会、口腔ケア計画委員会等の活動を展開しました。また、介護係における諸課題の解決、グループケアの推進を図るため、口腔ケア担当、行事・レク担当、事故・ヒヤリ防止担当、ショート担当、介護用品等管理担当のチームでの活動も展開しました。

(8) 職員研修

介護支援の向上や援助等に関する基礎知識の習得のため、施設内での内部勉強会を延べ 11 回実施しました。また、外部で開催された研修会へ 52 回、延べ 64 名が参加しました。

実施日	内部研修概要
4月25日	新人職員研修「法人のサービス概要等」
6月7日	第1回スキルアップ勉強会「認知症と対人援助」「身体拘束廃止について」
7月26日	第2回スキルアップ勉強会「感染症・食中毒について」
9月27日	第3回スキルアップ勉強会「健康管理・健康づくりについて」外部講師；新里保健センター職員
11月22日	第4回スキルアップ勉強会「災害派遣報告」「感染症と吐物の処理について」
12月4日	法人全体研修「階層別研修」外部講師；a i ビジネス 中村夢美子氏 同日に2回開催
12月6日	法人全体研修「階層別研修」外部講師；a i ビジネス 中村夢美子氏 同日に2回開催
12月11日	法人全体研修「階層別研修」外部講師；a i ビジネス 中村夢美子氏
3月14日	第5回スキルアップ勉強会「KYT 訓練、緊急時の対応について」

(9) 防災対策

火災予防のため、また、自然災害の発生時に入所者と職員が一体となって行動が取れるよう防火・防災対策を計画し、編成している自衛消防隊により避難訓練を実施しました。当該年度においては、火災を災害想定としたが、過去に起きた台風 10 号被害の経験を風化させないためにも、今後の防災対策では、大雨と河川氾濫時の対応を訓練内容に盛り込んでいくこととします。

実施日	避難訓練概要
6月8日	第1回自衛消防図上訓練（火災想定）職員のみ
8月21日	第2回自衛消防避難訓練（火災想定）宮古消防署新里分署立会い 宮古社協新里センター職員参加
11月16日	第3回自衛消防避難訓練（夜間の火災想定）宮古消防署新里分署立会い

(10) 交流・ボランティア及び実習の受入れ

地域住民とのふれあいや交流の機会がもてるように努めました。具体的には、新里保育所との定期的な交流、新里地区の小中学校との交流及び体験学習への講師派遣、職業体験の受入れ、慰問者の受入れ、地域行事への参加や見学等を行いました。また、各種の選挙では施設内で不在者投票を実施しました。

実施日	行事概要	実施日	行事概要
6月4日	新里中学校ミニコンサート見学(新里中学校)	9月19日	新里中学校職業体験学習受入(紫桐苑) 2日間
6月21日	新里小学校4年生施設見学(紫桐苑)	9月21日	敬老会開催(紫桐苑・デイサービス合同)
7月5日	新里保育所交流会(紫桐苑)	10月11日	新里保育所交流会(紫桐苑)
8月3日	納涼祭開催(紫桐苑、桐の花)	10月20日	新里小学校学習発表会見学(新里小学校)
8月8日	新里中学校ボランティア活動受入(紫桐苑)	10月21日	新里まつり見学(イベント会場)
8月19日	茂市熊野神社例大祭神輿来苑(紫桐苑)	11月3日	バンド演奏団体慰問(紫桐苑)
8月22日	新里中学校福祉体験学習講師派遣(新里中学校)	11月19日	新里小学校4年生交流学習(紫桐苑)
8月31日	新里中学校福祉体験学習講師派遣(新里中学校)	12月27日	新里中学校ボランティア活動受入(紫桐苑)
9月3日	新里小学校福祉体験教室講師派遣(新里小学校)	3月11日	青山学院女子短期大学ハートベル慰問(紫桐苑)
9月14日	新里中学校ミニコンサート見学(新里中学校)		
実施日	不在者投票概要		
4月19日	宮古市議会議員一般選挙 投票実施者 4名		

3 利用者の状況

(1) 紫桐苑長期入所者

① 年齢状況

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男	0	2	2	2	0	5	2	0	0	13
女	0	0	0	3	7	12	7	7	1	37
計	0	2	2	5	7	17	9	7	1	50
比率(%)	0.0	4.0	4.0	10.0	14.0	34.0	18.0	14.0	2.0	100.0
平均男性 81.5歳 平均女性 88.2歳 全体平均 86.5歳 最高 100歳 最低 68歳										

② 在所期間状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計
男	4	4	0	4	1	0	13
女	10	10	6	8	2	1	37
計	14	14	6	12	3	1	50
比率(%)	28.0	28.0	12.0	24.0	6.0	2.0	100.0
平均男性 3年 5ヶ月 平均女性 3年 10ヶ月 全体平均 3年 9ヶ月 最高男性 10年 10ヶ月 最高女性 17年 9ヶ月							

③ 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者	男	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	1	5
	女	1	2	1	0	0	0	3	0	2	1	1	1	12
退所者	男	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
	女	1	3	1	0	0	2	2	1	2	0	2	1	15
月末 在所者数	男	11	11	12	12	11	13	12	13	13	13	12	13	—
	女	39	38	38	38	38	36	37	36	36	37	36	37	—
	計	50	49	50	50	49	49	49	49	49	50	48	50	—
退所者の平均在所期間 5年 4ヶ月														

④ 新規入所者の入所前状況

	男	女	計
自宅	1	6	7
医療機関	1	5	6
老健他	3	1	4
計	5	12	17

⑤ 退所者の退所後状況

	男	女	計
死亡	3	15	18
長期入院	0	0	0
計	3	15	18

⑥ 介護度区分状況

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	2	7	4	13
女	0	0	6	15	16	37
計	0	0	8	22	20	50
平均男性 4.15 平均女性 4.27 全体平均 4.24						

⑦ 面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面会者	115	68	145	173	197	133	136	149	146	119	中止	42	1,423

⑧ 苦情受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
苦情等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(2) 紫桐苑短期利用者

① 利用状況

	利用者数	最高齢	最年少	平均
男	16	96歳	64歳	84.5歳
女	68	101歳	69歳	89.8歳
計	84	—	—	88.7歳

実施日数	365日
利用者延人数	3,073人
1日あたりの利用者数	8.4人

② 介護度区分状況

	男	女	計
要支援1	1	0	1
要支援2	1	0	1
要介護1	1	6	7
要介護2	4	18	22
要介護3	3	22	25
要介護4	3	15	18
要介護5	3	7	10
計	16	68	84